ベンチャー創出支援部門平成16年度プロジェクトA.デバイス作製・評価プロジェクト14

量子間相互作用を利用した 電子デバイスの研究

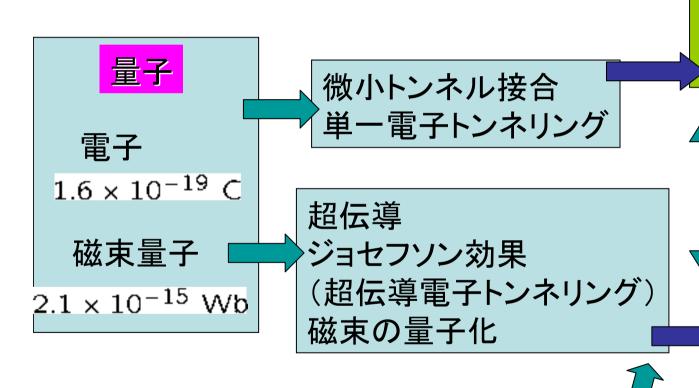
代表者: 水柿 義直 (電子工学科 助教授)

研究者: 伊藤 正史、小林 恭平(電子工学専攻 M1)

水田 元紀、徳山 相哲、波木井 秀充、

生田目 洋子(電子工学科 B4)

研究テーマ



単一電子デバイス 高密度・低消費電力 量子効果・高精度

> 電磁気学的双対性 量子コヒーレント素子 (量子ビット)

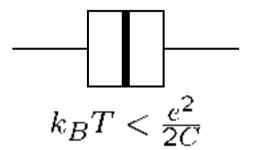
単一磁東量子デバイス 高速・低消費電力 量子効果・高精度

自己組織化プロセスによるナノ構造作製 低コストでのナノデバイス実現へ

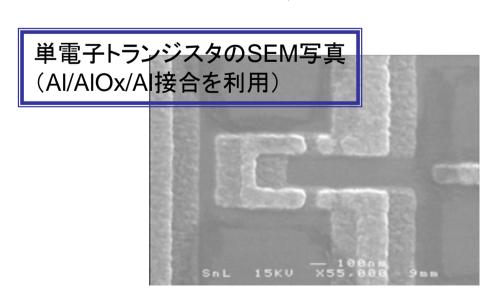
H16年度のテーマ

単一電子デバイスと回路

- □電子を1個の単位で取り扱う電子デバイス
- □高密度、低消費電力、量子効果



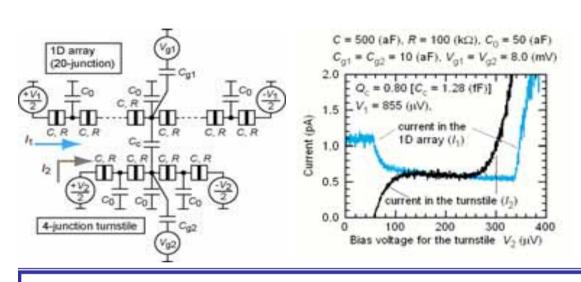
- ●微小トンネル接合(100nm×100nm程度)を用いたデバイス作製 >SVBLのクリーンルームなどを利用
- ●数値計算による単電子デバイス回路の特性評価
 - ▶コンピュータ・シミュレーション(モンテカルロ法)



モンテカルロ・シミュレーション

単一電子トンネリングを利用した 電流ミラー素子

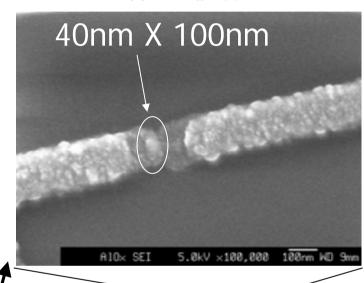
(水柿研:伊藤、水田)

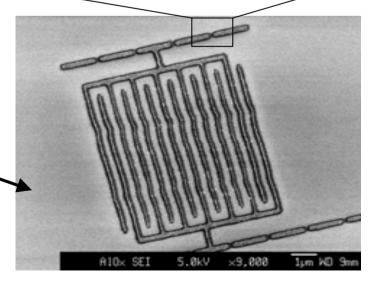


電流ミラー素子の構成とシミュレーション結果の例

作製した微小トンネル接合/ 量子電流ミラー素子

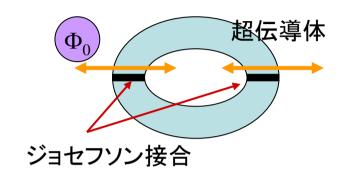
SVBLクリーンルームを利用した素子作製

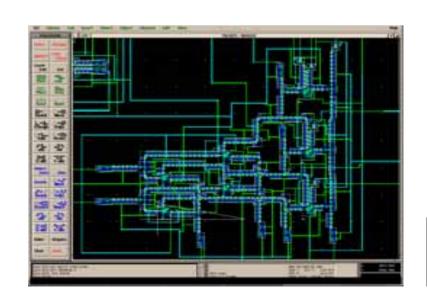




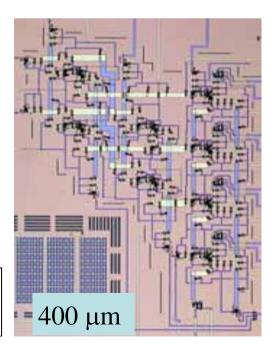
単一磁束量子デバイスと回路 (超伝導ジョセフソン・デバイス)

- □磁束量子を1個の単位で取り扱う電子デバイス ▶超伝導、ジョセフソン効果、磁束の量子化
- □高速、低消費電力、量子効果
- ●シミュレータ、CADツール群を利用した回路設計
- ●高速信号測定システムの構築と回路性能評価

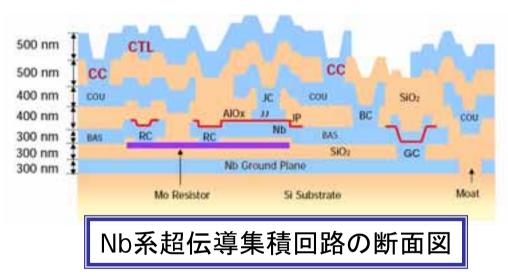


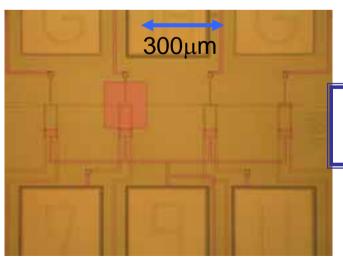


単一磁束量子論理回路 (2×2ビット乗算器)

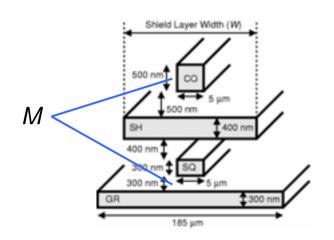


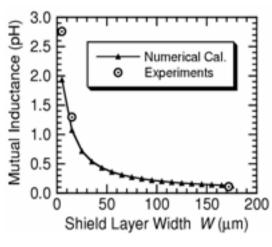
超伝導集積回路の設計とデバイスパラメータの評価





超伝導量子干渉素子 (SQUID) の顕微鏡写真

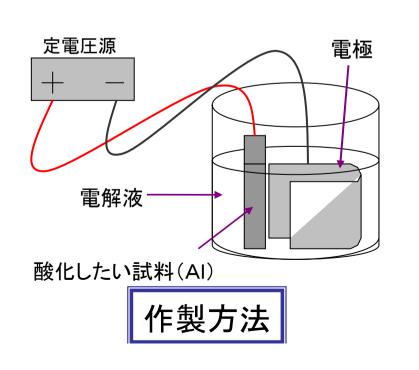


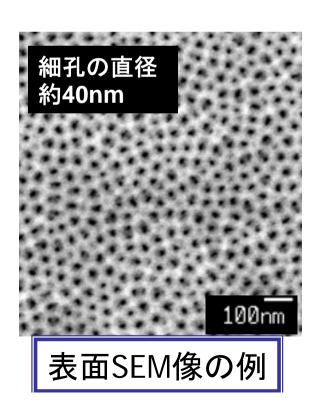


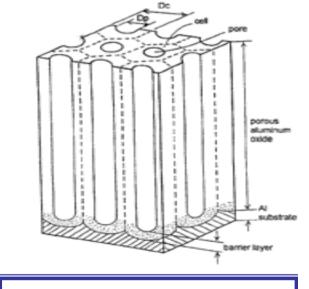
超伝導(Nb)薄膜の磁気 シールド効果の評価

自己組織化プロセスによるナノ構造作製

- □ アルミ酸化膜ナノホール(10~100nm径)の自己組織配列を利用した デバイス作製
 - ▶単電子デバイス作製プロセスへの応用
 - ▶界面(表面)形状の発展成長ダイナミクスの解析
 - ▶電界放出素子作製への応用

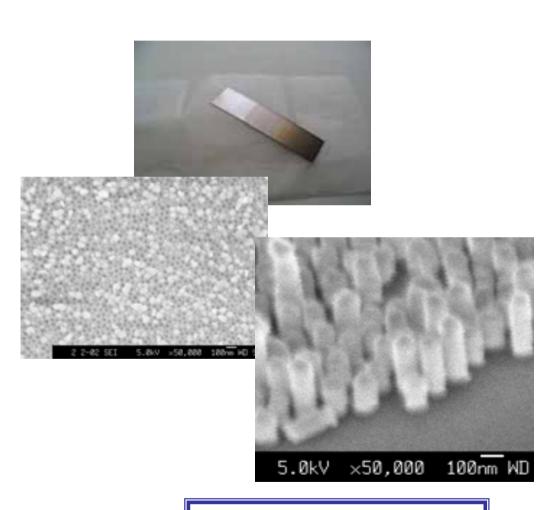




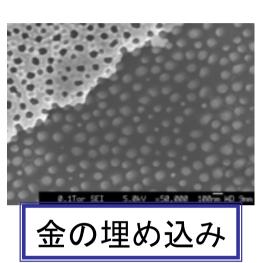


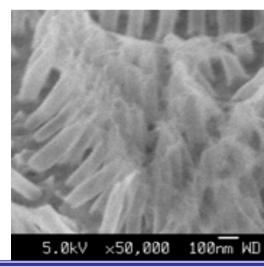
ナノホールの模式図

ナノホールへの金属や炭素系材料の 埋め込み



ニッケルの埋め込み





炭素系材料の埋め込み